

三中山城高校創立百年を はるかアメリカより 心からお祝い申し上げます

山城5回　ホワイトヘッド・初美

(旧姓竹中)

私が日本を飛び出し外国で住み始めて、かれこれ約五十年になります。主人と私の仕事の関係で、アメリカで生活の基盤を置きながら、世界の国々での経験が長期間に渡りました。

先ず始めに、ソ連のモスクワに赴任し、そのあと、東京、タイのバンコク、ベルギーのブラッセル、トルコのアンカラ、ブルガリアのソフィア、そして、一九九五年から二回目の東京での仕事が最後の任務となりました。各国には大体二年から三年住んでいましたので、何とか、その国にいる間は片言だけです。がその国の言葉が話せて、日常生活には不自由を感じませんでした。したが、その国を出た途端に忘れてしまう有様でした。

さて、東京での任務を最後に、一九九八年に私達は退職した

のですが、退職後の居住を決めるのに色々と考えました。結婚して以来、アメリカのワシントンDCの郊外に私達の家があったのですが、冬は寒くまた夏は蒸し暑く、それに車の渋滞も益々ひどくなってきたので、環境の好条件を最優先に考えて退職後の居住地を探していました。ハワイも候補地に挙げていたのですが、ハワイは短時間だけ訪問するには素晴らしい楽園ですが、四季もなく、ただ毎日が暑いだけで、それに、Island Fever『狭い島で生活する為に起こる情緒不安定』にかかりますよと、多くの友人が反対をしました。

外国には住み慣れているので、別に、アメリカに居をおく必要もなかったのです。『退職後に住む場所』という本によると、メキシコとコスタリカが優等候補地に上がっていました。中米は物価も安いので、年金だけでお手伝いを雇うことが出来、そして高級レストランへ週に二回は楽々で行けますよと大宣伝していました。が、医療設備のことを考えると二の足を踏まざるを得ませんでした。

結局、私達は太平洋に面したオレゴン州のポートランド市の郊外に住むことに決めました。郊外と言っても、ポートランド市を少し北に進むと大きいコロンビア河があり、それを越えた

所にある町なのですが、そこはもうワシントン州になります。ワシントン州はご存知のように、メジャーリーグのシアトル・マリナーズ球団の本拠地があるところです。去年の9月はイチロー選手が歴史的記録のヒットを打つか打たないかと興奮の坩堝の毎日でした。

ワシントン州は州税がないので助かります。そして、オレゴン州には消費税がないので、大きい買い物はすべてポートランドへ行くようにしています。そのような訳で税金の面では大いに助かっています。一時間半も東ヘドライブをすると、マウントフッドという山の中腹まで行けます。このマウントフッド山は富士山よりも三五〇メートルほど低いのですが、山頂は万年雪に恵まれ、スノーボーダーの聖地と言われています。毎夏、日本から百名以上のセミプロ級のスノーボーダー達がやってきて、夏のスノーボードを楽しんでいます。去年は八月に雨が多くて、松茸の狂い咲きの年になったのですが、そのおかげでマウントフッド山の樹海では、手に持てないほどの松茸を取る事が出来ました。長年ここに住んでいる人たちが、このような松茸の豊作はかつて経験したことがないと言っています。このあたりは、山、滝、河、湖、温泉があり、それに温暖な気候がプラスして退職後の生活には持ってこいの場所だと、私達の選

扱が妥当だったことに気をよくしています。

しかし、いくら外国に住み慣れたといっても、二十二歳まで過ごした京都の素晴らしさは身に沁みていて、世界中のどのような風光明媚な場所や名所旧跡のある国と比べても、京都にかなう場所はありません。一年に何度となく京都へ遊びに行くのですが、京都駅前に乗ったタクシーの運転手が京都弁で、『何処からおいでやしたんどすか』といった京都弁を耳にすると、ほっとします。私は東京に住んでいた時も、外国に住んでいた時も、いつも京都弁を使っています。京都弁と言わずに、『京ことば』と言ってねと京都の友達からわいわいと言われるのですが、私の話す日常的な日本語は、果たして『京都弁』なのか『京ことば』なのか……どうなのでしょう。ただ、私が現役時代に仕事の一つであった通訳に関していえば、私が通訳する日本語は、完全に京都のなまりが入っていたことには間違いありません。職業意識から言えば落第なのでしょうが、私は『我関せず』主義で通してまいりました。

言葉だけではなく何処に住んでいても心の中にはいつも京都がありますし、アメリカに住んでいる日本の各地から来ている人たちに、『私は京都出身です』と自慢げに話すことができる

のは、千年の古都の歴史を持つ京都出身だからこそです。

現在では、山城高校時代のテニス部の同期生と、毎年、二泊三日でテニスを楽しんでいますし、東京に住んでいた頃は多くの山城の同期生達と度々集まりを持ち、楽しく飲んだり、食べたり、騒いだりしながら昔話に花が咲いたものでした。山城高校の三年間は私の青春の思い出がぎっしりと詰まっています。私は山城高校出身を大変に誇りと思っています。